

令和3年度 第1回 住吉区地域福祉専門会議 会議要旨

- 1 日 時 令和3年7月1日（木） 午後6時から午後7時30分
- 2 場 所 住吉区役所 4階 第4・5会議室
- 3 出席者
(委 員)
西田委員長、大谷内委員、笠原委員、野上委員、八牟禮委員、三橋委員、
宮川委員、渡邊委員、小野アドバイザー
(区役所他)
区長、副区長、関係課長、課長代理 住吉区社会福祉協議会事務局長代理、
地域支援担当主査

4 議 題

報 告

- (1) 住吉区地域見守り支援システムの進捗状況について
- (2) 地域座談会の開催状況について
- (3) 住吉区地域福祉推進プラン 令和2年度事業総括について
- (4) 住吉区地域福祉ビジョン（改訂案）についてのパブリック・コメントの
実施結果について

議 事

- 住吉区地域福祉ビジョン（改訂版） 令和3年度事業計画について
- 令和3年度第2回住吉区地域福祉専門会議におけるグループディスカッション
の議題について

5 議事要旨等

- 住吉区地域福祉ビジョン（改訂版）の目標達成に向けた、本年度の事業計画に
ついて説明を行い、意見を聞いた。

主な委員意見

- 子ども若者育成支援事業において、子ども・若者を支援していくとなっているが、その保護者も悩んでいる。保護者支援も入れてもらいたい。
- 地域包括支援センターやCSWによる出張相談を開催するとなっている。どこに相談すればいいか困っておられる方のために、身近な相談場所が必要だと感じており、区役所から情報発信することによりそういった方々に情報が行きわたることを期待する。
- 総合防災訓練の実施にあたっては、地域にある企業や法人など昼間に地域にいる人たちを巻き込んだ訓練も必要ではないかと考えている。
- 個別支援プランの必要性について周知するとあるが、地域で見守り活動をしている中で、個別支援プランの必要性について十分に落ち切れていない。

大規模災害が発生した状況で個別支援プランが本当に活用できるのか疑問であり、聞き取る内容的にプライバシーにかかわるので聞き出すのに神経を使い、ボランティアの負担が大きく、必要性がわからないと進められない。

○ACP（人生会議）について知る機会が少ない。

○子育てサロンがコロナ禍で中止を余儀なくされている。区社協の協力もあり、6月にリモートで開催できた。コロナ禍でもつながれる活動が必要であり、子育てに悩む親に発信できるように取り組みが必要。

○コロナ禍でいろいろ活動が休止を余儀なくされている。地域活動はかなりのダメージを受けていて、活動再開には相当の労力が必要になるのではないかと感じている。アフターコロナを見据え、活動再開に向けてしっかりと地域と専門職、行政と一緒に話し合っていくことが重要である。

○ 第2回専門会議で実施するグループディスカッションの議題について意見を聞いた。

主な委員意見

○アフターコロナの活動、ネットワークについて地域と専門職、行政と一緒に話し合っていく方法について考える。

6 今後の予定（次回開催日程等）

令和3年度第2回地域福祉専門会議 9月16日（木）開催予定